

研究協力をお願い

東近江総合医療センター南5病棟において、患者さまへ安全で安楽な療養環境を提供したいと考え本研究に取り組みます。南5病棟に入院されていた患者様の情報を用いて調査する研究であり、研究目的や研究方法は以下の通りです。情報等の使用について、直接に説明して同意は頂かずに、このお知らせをもって公開いたします。対象となる方におかれましては、研究の主旨・方法をご理解いただきますようお願い申し上げます。

この研究への情報提供をご希望されない場合、あるいは、研究に関するご質問は下記の問い合わせ先へご連絡ください。

《課題名》身体拘束解除要因の分析と指標の作成～すべての看護師が積極的に身体拘束を解除することを目指して～

《研究対象者》2019年4月～2020年3月の間に、南5病棟に入院し身体拘束を実施していた患者さま

(1) 研究の概要について

研究課題名：身体拘束解除要因の分析と指標の作成～すべての看護師が積極的に身体拘束を解除することを目指して～

研究期間：2020年7月～2021年1月

実施責任者名：東近江総合医療センター 南5病棟看護師 竹村智美

(2) 研究の意義、目的について

南5病棟では身体拘束カンファレンスを実施し、必要性を判断して不要な身体拘束を解除しています。この研究は、昨年、身体拘束を解除した患者さまの看護記録から身体拘束を解除した要因を分析し、指標を作成することを目的としています。今後、指標を使用することですべての看護師がさらに積極的に身体拘束解除に取り組み、患者様の安全で安楽な療養環境を提供することを目指します。

(3) 研究の方法について

2019年4月～2020年3月の間に、南5病棟に入院し身体拘束を実施していた患者さまの身体拘束カンファレンスの記録、看護記録から身体拘束を解除した要因を分析します。

(4) 個人情報の取り扱いについて

研究にあたっては、個人を容易に同定できる情報は削除したり、関りのない記述等に置き換えたりして使用します。また、研究を学会や論文などで発表するときも、個人を特定できないようにして公表します。

(5) 研究成果の発表について

この研究成果は学会発表、学術雑誌およびデータベースなどで公表します。

(6) 利益相反について

本研究は、特定の企業・団体等から資金を受けて行われるものではなく、利益相反はありません。

(7) 研究計画書等の入手又は閲覧

本研究の対象となる方は、希望される場合には、他の研究対象者等の個人情報及び知的財産の保護等に支障がない範囲内で、本研究に関する研究計画書等の資料を入手・閲覧することができます。

(8) 利用又は提供の停止

研究対象者又はその代理人の求めに応じて、研究対象者が識別される情報の利用を停止することができます。停止を求める場合には、(2020年12月までに)下記(9)にご連絡ください。

(9) 問い合わせ等の連絡先

東近江総合医療センター 看護部

住所：〒527-8505 滋賀県東近江市五智町 255 番地

電話番号：0748 (22) 3030 (代表)

研究責任者： 南5病棟看護師 竹村 智美

南5病棟看護師長 早川 直子